

調査結果の概要

[1] 学校調査

1 幼稚園

- (1) 幼稚園数は216園(国立1園、公立141園、私立74園)で、前年度より公立が5園減少し、私立が1園増加している。(表1「園数」参照)
 私立幼稚園を設置者別にみると、学校法人立67園(90.5%)、個人立4園(5.4%)、宗教学法人立2園(2.7%)、その他の法人立1園(1.4%)となっている。
- (2) 学級数は629学級で、前年度より3学級増加している。(表1「学級数」参照)
 編制方式別にみると、5歳児のみの学級が283学級で最も多く、次いで4歳児のみの学級158学級、3歳児のみの学級121学級の順となっている。
- (3) 園児数は12,433人(男子6,323人、女子6,110人)で、前年度より111人減少している。年齢別では、5歳が5,982人(48.1%)と最も多くなっている。(表1「園児数」参照)
 また、設置者別では、私立8,565人(68.9%)、公立3,712人(29.9%)、国立156人(1.3%)となっており、昭和62年度から連続して私立が国・公立の園児数を上回っている。
- (4) 教員数(本務者、但し教育補助員は除く)は1,004人(男子62人、女子942人)で、前年度より5人増加している。本務教員1人当たりの園児数は12.4人で、前年度より0.2人減少している。
- (5) 就園率は62.5%で、前年度より1.2ポイント上昇している。全国平均は54.8%となっており、前年度より0.3ポイント低下している。(図1参照)

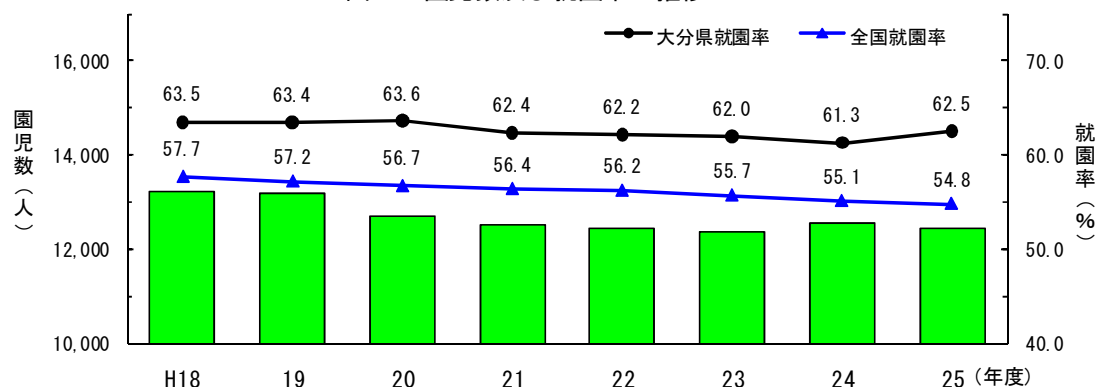
表1 幼稚園の状況

(単位：園、学級、人)

区分	園数				学級数	園児数				前年度 終了者数
	計	国立	公立	私立		計	3歳	4歳	5歳	
平成18年度	246	1	171	74	676	13,205	2,418	4,110	6,677	6,898
19	241	1	166	74	673	13,169	2,378	4,077	6,714	6,826
20	234	1	159	74	650	12,704	2,333	3,991	6,380	6,932
21	229	1	155	73	648	12,519	2,306	3,950	6,263	6,499
22	226	1	152	73	649	12,427	2,506	3,848	6,073	6,415
23	222	1	148	73	627	12,350	2,526	3,983	5,841	6,213
24	220	1	146	73	626	12,544	2,621	3,904	6,019	6,035
25	216	1	141	74	629	12,433	2,534	3,917	5,982	6,327

(学級数は0人の学級を含む)

図1 園児数及び就園率の推移



2 小学校

(1) 学校数は304校(国立1校、公立302校、私立1校)で、前年度より公立が5校減少している。

表2 設置者別学校数(小学校)

(単位:校)

区 分	計	国 立	公 立			私 立
			計	本 校	分 校	
平成18年度	363	1	361	346	15	1
19	355	1	353	339	14	1
20	348	1	346	333	13	1
21	342	1	340	327	13	1
22	326	1	324	312	12	1
23	321	1	319	308	11	1
24	309	1	307	296	11	1
25	304	1	302	291	11	1

(2) 学級数は2,874学級で、前年度より4学級減少している。

学級種別でみると、単式学級が2,415学級、複式学級が133学級、特別支援学級が326学級で、前年度よりそれぞれ39学級減少、同数、35学級増加している。

また、特別支援学級の全体に占める割合は11.3%で、前年度より1.2ポイント上昇している。

1校当たりの学級数は9.5学級で、前年度より0.2学級増加している。

表3 学級数(小学校)

(単位:学級)

区 分	計	単式学級	複式学級	特別支 援学級	特別支援学 級の占める 割合(%)	1校当たり の学級数
平成18年度	3,055	2,695	171	189	6.2	8.4
19	3,027	2,660	168	199	6.6	8.5
20	2,990	2,620	163	207	6.9	8.6
21	2,950	2,577	156	217	7.4	8.6
22	2,918	2,526	154	238	8.2	9.0
23	2,918	2,502	152	264	9.0	9.1
24	2,878	2,454	133	291	10.1	9.3
25	2,874	2,415	133	326	11.3	9.5

(3) 児童数は61,534人(男子31,484人、女子30,050人)で、前年度より722人減少している。
児童数は昭和58年度以降毎年減少が続いている。

1学級当たりの児童数は21.4人で、前年度より0.2人減少している。

表4 学年別児童数(小学校) (単位:人)

区 分	計	学 年 別 児 童 数					
		1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	5 学 年	6 学 年
平成18年度	67,904	10,856	11,034	11,295	11,456	11,223	12,040
19	66,690	10,771	10,900	11,054	11,289	11,439	11,237
20	66,321	10,906	10,779	10,894	11,024	11,290	11,428
21	65,240	10,412	10,874	10,767	10,883	11,008	11,296
22	64,187	10,313	10,411	10,855	10,743	10,867	10,998
23	63,239	10,029	10,341	10,398	10,856	10,745	10,870
24	62,256	9,842	10,050	10,339	10,442	10,833	10,750
25	61,534	10,121	9,827	10,025	10,339	10,401	10,821

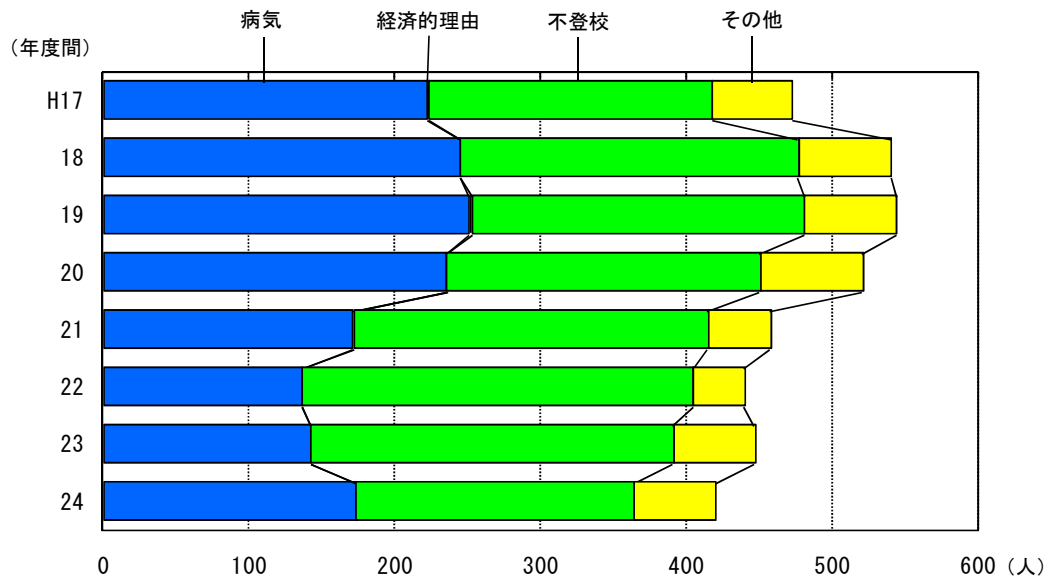
(4) 平成24年度間に30日以上欠席した児童は420人で、前年度間より27人減少している。
長期欠席率は0.67%で、前年度間より0.04ポイント低下している。

理由別にみると、不登校190人(45.2%)が最も多く、次いで病気が174人(41.4%)、その他56人(13.3%)、経済的理由0人(0%)の順となっており、前年度間よりそれぞれ59人減少、32人増加、同数、同数となっている。

表5 理由別長期欠席者数(30日以上)(小学校) (単位:人)

区 分	計	病 気	経済的 理由	不登校	その他	長期 欠席率 (%)
平成17年度間	473	222	2	194	55	0.69
18	541	245	-	232	64	0.80
19	544	251	2	228	63	0.82
20	521	236	-	215	70	0.79
21	458	171	1	243	43	0.70
22	440	136	-	269	35	0.69
23	447	142	-	249	56	0.71
24	420	174	-	190	56	0.67

図2 理由別長期欠席者数（30日以上）（小学校）



(5) 教員数(本務者)は4,533人(男子1,619人、女子2,914人)で、前年度より28人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は3人増加し、女子教員は31人減少している。また、男女別の構成比は、男子教員35.7%、女子教員64.3%で、昭和56年度以降連続して女子教員が男子教員を上回っている。

本務教員1人当たりの児童数は13.6人で、前年度と同数になっている。

表6 教員数（本務者）（小学校）

（単位：人）

区分	計	男	女	国立	公立	私立
平成18年度	4,745	1,713	3,032	24	4,711	10
19	4,718	1,696	3,022	24	4,683	11
20	4,693	1,660	3,033	25	4,655	13
21	4,587	1,603	2,984	25	4,547	15
22	4,560	1,610	2,950	25	4,520	15
23	4,615	1,632	2,983	25	4,573	17
24	4,561	1,616	2,945	26	4,518	17
25	4,533	1,619	2,914	26	4,490	17

3 中学校

(1) 学校数は140校(国立1校、公立134校、私立5校)で、前年度より公立が3校減少している。

表7 設置者別学校数(中学校)

(単位:校)

区 分	計	国 立	公 立	私 立
平成18年度	151	1	145	5
19	149	1	143	5
20	148	1	142	5
21	143	1	137	5
22	142	1	136	5
23	142	1	136	5
24	143	1	137	5
25	140	1	134	5

(2) 学級数は1,251学級で、前年度より3学級減少している。

学級種別でみると、単式学級が1,105学級、特別支援学級が146学級で、前年度よりそれぞれ7学級減少、4学級増加となっている。また、特別支援学級の全体に占める割合は11.7%で、前年度より0.4ポイント上昇している。

1校当たりの学級数は8.9学級で、前年度より0.1学級増加している。

なお、複式学級は、昭和49年度から該当なしとなっている。

表8 学級数(中学校)

(単位:学級)

区 分	計	単式学級	複式学級	特別支 援学級	特別支援学 級の占める 割合(%)	1校当たり の学級数
平成18年度	1,176	1,102	-	74	6.3	7.8
19	1,171	1,097	-	74	6.3	7.9
20	1,242	1,160	-	82	6.6	8.4
21	1,241	1,151	-	90	7.3	8.7
22	1,227	1,129	-	98	8.0	8.6
23	1,247	1,126	-	121	9.7	8.8
24	1,254	1,112	-	142	11.3	8.8
25	1,251	1,105	-	146	11.7	8.9

(3) 生徒数は32,293人(男子16,477人、女子15,816人)で、前年度より600人減少している。生徒数は昭和63年度以降減少傾向が続いている。

1学級当たりの生徒数は25.8人で、前年度より0.4人減少している。

表9 学年別生徒数(中学校)

(単位:人)

区 分	計	学 年 別 生 徒 数		
		1 学 年	2 学 年	3 学 年
平成18年度	34,954	11,516	11,560	11,878
19	35,047	11,958	11,537	11,552
20	34,604	11,153	11,944	11,507
21	34,336	11,315	11,130	11,891
22	33,610	11,181	11,302	11,127
23	33,384	10,937	11,160	11,287
24	32,893	10,777	10,942	11,174
25	32,293	10,612	10,763	10,918

(4) 平成24年度間に30日以上欠席した生徒は1,185人で、前年度間より25人増加している。長期欠席率は3.60%で、前年度間より0.13ポイント上昇している。

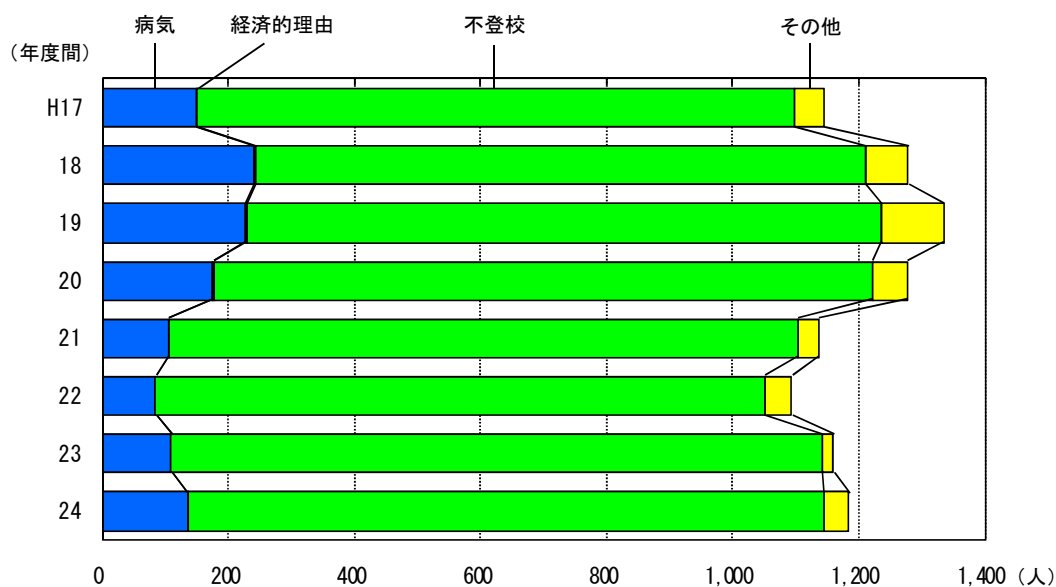
理由別にみると、不登校1,010人(85.2%)が最も多く、次いで病気が136人(11.5%)、その他39人(3.3%)、経済的理由0人(0%)の順となっており、前年度間よりそれぞれ21人減少、26人増加、20人増加、同数となっている。

表10 理由別長期欠席者数(30日以上)(中学校)

(単位:人)

区 分	計	病 気	経済的 理由	不登校	その他	長期 欠席率 (%)
平成17年度間	1,145	149	1	947	48	3.24
18	1,278	241	2	967	68	3.66
19	1,335	228	1	1,006	100	3.81
20	1,276	176	2	1,043	55	3.69
21	1,136	105	-	998	33	3.31
22	1,093	85	-	965	43	3.25
23	1,160	110	-	1,031	19	3.47
24	1,185	136	-	1,010	39	3.60

図3 理由別長期欠席者数（30日以上）（中学校）



- (5) 教員数(本務者)は2,707人(男子1,603人、女子1,104人)で、前年度より22人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は1人減少し、女子教員は21人減少している。また、男女別の構成比は、男子教員59.2%、女子教員40.8%となっている。
 本務教員1人当たりの生徒数は11.9人で、前年度より0.2人減少している。

表1-1 教員数（本務者）（中学校） （単位：人）

区分	計	男	女	国立	公立	私立
平成18年度	2,789	1,658	1,131	22	2,720	47
19	2,761	1,629	1,132	21	2,691	49
20	2,746	1,632	1,114	22	2,674	50
21	2,746	1,636	1,110	23	2,672	51
22	2,739	1,622	1,117	22	2,664	53
23	2,730	1,611	1,119	22	2,654	54
24	2,729	1,604	1,125	22	2,658	49
25	2,707	1,603	1,104	22	2,635	50

4 高等学校（全日制・定時制）

(1) 学校数は64校(公立50校、私立14校)で、前年度と同数になっている。

課程別にみると、全日制60校、定時制1校、全日制・定時制併置校3校となっている。また、本校分校別にみると、本校60校、分校4校となっている。

なお、公立のうち市立は1校で、他はすべて県立である。

表12 学校数（高等学校）

(単位：校)

区分	計	公立				私立
		計	全日制	定時制	併置	全日制
平成18年度	71	57	51	1	5	14
19	69	55	49	1	5	14
20	63	49	43	1	5	14
21	64	50	43	1	6	14
22	65	51	43	2	6	14
23	63	49	43	2	4	14
24	64	50	44	2	4	14
25	64	50	46	1	3	14

(2) 学科数(本科)は107学科(普通科41、商業科15、工業科15、農業科10、看護科6、家庭科6、総合学科5、福祉科4、水産科1、その他4)で、前年度より1学科増加している。

全学科に占める割合は、普通科が38.3%と最も高く、以下商業科14.0%、工業科14.0%の順となっている。(図4「学科数」参照)

(3) 生徒数は33,105人(本科32,680人、専攻科425人)で、前年度より641人減少している。男女別にみると、男子16,558人(本科16,491人、専攻科67人)、女子16,547人(本科16,189人、専攻科358人)となっている。(表13参照)

本科の学科別にみると、普通科が19,037人(58.3%)で最も多く、次いで工業科4,623人(14.1%)、商業科3,041人(9.3%)の順となっている。(図4「生徒数」、表14参照)

図4 学科数(本科)及び学科別生徒数(本科)の構成比(高等学校)

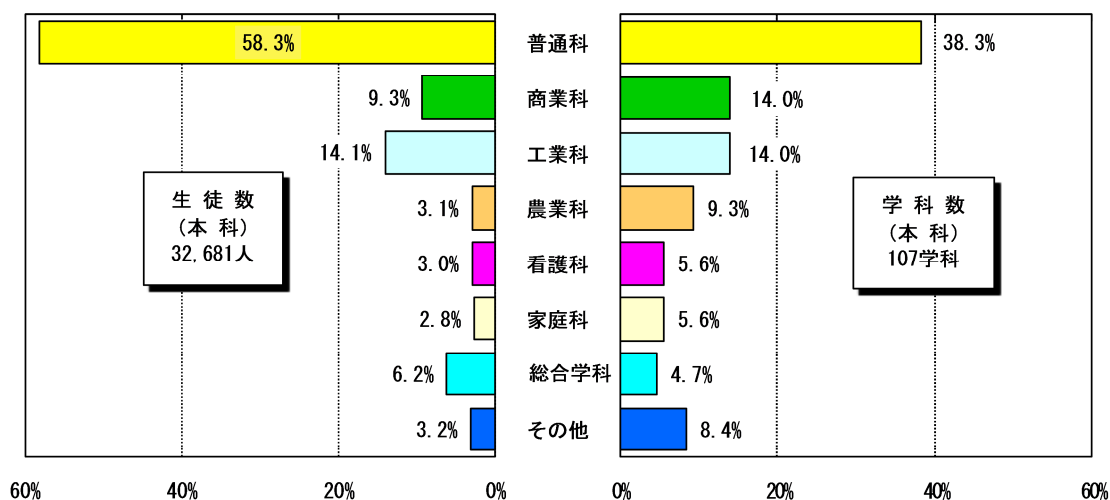


表 1 3 学年別生徒数（高等学校）

（単位：人）

区 分	計	本 科					専攻科
		計	1年	2年	3年	4年	
平成18年度	36,572	36,090	11,914	12,017	12,071	88	482
19	35,498	35,033	11,852	11,479	11,625	77	465
20	34,426	34,018	11,486	11,380	11,090	62	408
21	34,029	33,634	11,416	11,083	11,059	76	395
22	34,179	33,724	11,882	11,000	10,783	59	455
23	33,865	33,384	11,108	11,492	10,707	77	481
24	33,746	33,290	11,291	10,844	11,098	57	456
25	33,105	32,680	11,083	10,942	10,549	106	425

表 1 4 学科別生徒数（本科）（高等学校）

（単位：人）

区 分	本科計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	総合 学科	その他
平成18年度	36,090	20,795	1,515	4,554	3,583	173	1,140	776	443	2,436	675
19	35,033	20,237	1,430	4,402	3,471	185	1,097	793	409	2,388	621
20	34,018	19,774	1,346	4,377	3,357	152	997	791	366	2,307	551
21	33,634	19,578	1,311	4,514	3,289	129	893	793	347	2,249	531
22	33,724	19,747	1,273	4,609	3,241	115	839	793	336	2,263	508
23	33,384	19,460	1,193	4,642	3,175	114	882	863	329	2,198	528
24	33,290	19,485	1,052	4,617	3,154	113	890	914	353	2,162	550
25	32,680	19,037	1,002	4,623	3,041	113	905	989	375	2,040	555

(4) 教員数(本務者)は2,699人(男子1,876人、女子823人)で、前年度より42人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は35人減少し、女子教員は7人減少している。また、男女別の構成比は、男子69.5%、女子30.5%となっている。

設置者別にみると、公立2,077人(77.0%)、私立622人(23.0%)となっている。

表 1 5 教員数（本務者）（高等学校）

（単位：人）

区 分	計	公 立			私 立		
		計	男	女	計	男	女
平成18年度	2,941	2,342	1,694	648	599	402	197
19	2,864	2,254	1,647	607	610	406	204
20	2,781	2,188	1,581	607	593	391	202
21	2,808	2,195	1,558	637	613	401	212
22	2,822	2,211	1,568	643	611	387	224
23	2,770	2,138	1,526	612	632	406	226
24	2,741	2,114	1,502	612	627	409	218
25	2,699	2,077	1,470	607	622	406	216

5 特別支援学校

- (1) 学校数は、17校(国立1校、県立16校)で、前年度と同数になっている。(表16参照)
- (2) 学級数は、382学級で、前年度より3学級増加している。
- (3) 在学者数は、1,215人(男子770人、女子445人)で、前年度より26人増加している。部別にみると、幼稚部16人、小学部351人、中学部311人、高等部537人になっている。(表17参照)
- (4) 教員数(本務者)は、919人(男子375人、女子544人)で、前年度より1人増加している。
- (5) 通学状況についてみると、家庭から通学している者が1,010人と最も多く、次いで児童福祉施設からが106人、医療機関からが65人、寄宿舎からが34人となっている。

表16 特別支援学校の状況

(単位：校、人)

区 分	特別支援学校			盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学校数	在学者数	本務教員数	学校数	在学者数	本務教員数	学校数	在学者数	本務教員数	学校数	在学者数	本務教員数
平成18年度	…	…	…	1	34	48	1	53	58	14	950	765
19	16	1,040	871	…	…	…	…	…	…	…	…	…
20	16	1,064	874	…	…	…	…	…	…	…	…	…
21	17	1,087	886	…	…	…	…	…	…	…	…	…
22	17	1,126	889	…	…	…	…	…	…	…	…	…
23	17	1,153	906	…	…	…	…	…	…	…	…	…
24	17	1,189	918	…	…	…	…	…	…	…	…	…
25	17	1,215	919	…	…	…	…	…	…	…	…	…

表17 部別在学者数(特別支援学校)

(単位：人)

区 分	総 数			幼稚部	小学部	中学部	高等部
	計	男	女				
平成19年度	1,040	646	394	22	294	270	454
20	1,064	656	408	14	299	292	459
21	1,087	676	411	16	314	289	468
22	1,126	696	430	17	320	289	500
23	1,153	720	433	12	333	280	528
24	1,189	755	434	11	351	297	530
25	1,215	770	445	16	351	311	537

6 専修学校

- (1) 学校数は、44校(公立1校、私立43校)で、前年度と同数になっている。
- (2) 生徒数は、5,055人(公立89人、私立4,966人)で、前年度より37人増加している。
男女別にみると、男子2,117人、女子2,938人となっている。
学科別にみると、最も多いのは医療関係3,041人(60.2%)で、次いで工業関係596人(11.8%)、文化・教養関係559人(11.1%)の順となっている。
- (3) 教員数(本務者)は、399人(男子181人、女子218人)で、前年度より7人増加している。

表18 学科別生徒数(専修学校)

(単位:人)

区分	合計	工業 関係	農業 関係	医療 関係	衛生 関係	教育・ 社会福 祉関係	商業 実務 関係	服飾・ 家政 関係	文化・ 教養 関係
平成18年度	5,653	755	-	3,155	527	236	156	206	618
19	5,328	678	-	3,071	455	163	123	208	630
20	5,130	639	70	2,998	414	147	123	149	590
21	4,933	594	76	2,875	361	143	124	148	612
22	5,204	608	94	2,949	435	190	133	128	667
23	5,187	596	94	2,995	457	197	119	98	631
24	5,018	581	94	3,011	402	160	118	82	570
25	5,055	596	89	3,041	414	166	130	60	559

7 各種学校

- (1) 学校数は、19校(公立2校、私立17校)で、前年度より1校減少している。
- (2) 生徒数は、1,855人(公立427人、私立1,428人)で、前年度より66人増加している。
男女別にみると、男子982人、女子873人となっている。
学科別にみると、最も多いのはその他(自動車操縦を含む)1,293人(69.7%)で、次いで商業実務関係170人(9.2%)の順となっている。
- (3) 教員数(本務者)は、130人(男子111人、女子19人)で、前年度より11人減少している。

表19 課程別生徒数(各種学校)

(単位:人)

区分	合計	工業 関係	農業 関係	医療 関係	衛生 関係	教育・ 社会福 祉関係	商業 実務 関係	服飾・ 家政 関係	文化・ 教養 関係	その他
平成18年度	2,244	35	-	82	13	-	153	80	243	1,638
19	2,478	45	-	96	5	-	164	77	256	1,835
20	1,830	44	-	93	9	-	150	87	261	1,186
21	1,926	43	-	96	5	-	162	85	249	1,286
22	1,998	40	-	42	-	-	180	80	285	1,371
23	1,713	38	-	44	-	-	311	85	90	1,145
24	1,789	45	-	107	-	-	175	107	103	1,252
25	1,855	43	-	103	-	-	170	114	132	1,293

[2] 卒業後の状況調査（平成25年3月卒業者）

1 中学校卒業生

(1) 卒業生数は11,174人(男子5,743人、女子5,431人)で、前年度より123人減少している。卒業生を進路別にみると、高等学校等進学者11,042人(98.82%)、専修学校(高等課程)進学者3人(0.03%)、専修学校(一般課程)等入学者4人(0.04%)、公共職業能力開発施設等入学者3人(0.03%)、就職者39人(0.35%)、その他83人(0.74%)となっている。

表20 進路別卒業生数(中学校)

(単位：人、%)

区分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F+G)	高等学校 等進学者	専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	その他	(再掲) A、B、C、D のうち 就職者	高等学校 等進学率	就職率 就職者総 数(E+G)/T ×100	県内 就職率
	T	A	B	C	D	E	F	G	A/T×100		
平成18年3月	11,842	11,647	28	10	9	62	86	5	98.4	0.6	92.5
19	11,885	11,683	39	13	8	73	69	5	98.3	0.7	88.5
20	11,545	11,384	2	8	4	66	81	3	98.6	0.6	91.3
21	11,511	11,350	5	2	4	59	91	9	98.6	0.6	92.6
22	11,890	11,722	2	3	1	51	111	1	98.6	0.4	82.7
23	11,147	10,992	4	7	3	54	87	7	98.6	0.5	86.9
24	11,297	11,140	-	-	8	61	88	4	98.6	0.6	83.1
25	11,174	11,042	3	4	3	39	83	-	98.8	0.3	97.4

(2) 高等学校等進学者数は11,042人(男子5,657人、女子5,385人)で、前年度より98人減少している。進路区分別にみると、高等学校本科10,810人(うち全日制男子5,379人、女子5,226人、定時制男子70人、女子71人、通信制男子31人、女子33人)、高等専門学校160人(男子138人、女子22人)、特別支援学校高等部本科72人(男子39人、女子33人)となっている。

(表21「A」欄参照)

高等学校等進学率は98.8%(男子98.5%、女子99.2%)で、前年度より0.2ポイント上昇している。なお、高等学校等進学率の全国平均は98.4%(男子98.1%、女子98.7%)で、大分県は九州第3位、全国第14位の進学率となっている。

(3) 就職者総数は39人(男子31人、女子8人)で、前年度より26人減少している。このうち、進学者及び入学者で就職している者は0人となっている。

就職率は0.3%で前年度より0.3ポイント低下している。また、就職率の全国平均は0.4%で、前年度と同率である。

就職者総数のうち県内に就職した者は38人で、前年度より16人減少している。県内就職率は97.4%で、前年度より14.3ポイント上昇している。

表 2 1 設置者別・進路別卒業生数（中学校）

（単位：人、％）

区 分	合 計			国 立			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
T 卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G)	11,174	5,743	5,431	158	79	79	10,793	5,548	5,245	223	116	107
A 高等学校等進学者	11,042	5,657	5,385	157	79	78	10,663	5,463	5,200	222	115	107
計	10,810	5,480	5,330	155	78	77	10,433	5,287	5,146	222	115	107
高等学校	10,605	5,379	5,226	154	78	76	10,229	5,186	5,043	222	115	107
本科（全日制）	141	70	71	1	-	1	140	70	70	-	-	-
本科（定時制）	64	31	33	-	-	-	64	31	33	-	-	-
本科（通信制）	64	31	33	-	-	-	64	31	33	-	-	-
高等専門学校	160	138	22	2	1	1	158	137	21	-	-	-
特別支援学校・高等部本科	72	39	33	-	-	-	72	39	33	-	-	-
B 専修学校（高等課程）進学者	3	2	1	-	-	-	3	2	1	-	-	-
C 専修学校（一般課程）等入学者	4	1	3	-	-	-	4	1	3	-	-	-
D 公共職業能力開発施設等入学者	3	3	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-
E 就職者	39	31	8	-	-	-	39	31	8	-	-	-
F 上記以外の者	83	49	34	1	-	1	81	48	33	1	1	-
G 不詳・死亡の者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H （再掲）	Aのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Bのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Cのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Dのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等学校等進学率 $A/T \times 100$	98.8	98.5	99.2	99.4	100.0	98.7	98.8	98.5	99.1	99.6	99.1	100.0
就職率 就職者総数(E+H)/T×100	0.3	0.5	0.1	-	-	-	0.4	0.6	0.2	-	-	-
高等学校本科（全日・定時）への入学志願者数	10,793	5,487	5,306	155	78	77	10,415	5,293	5,122	223	116	107

(4) 就職先を産業別にみると、第1次産業3人(7.7%)、第2次産業17人(43.6%)、第3次産業19人(48.7%)、その他・不詳0人(0%)となっている。

前年度に比べ第1次産業は1人減少、第2次産業は12人減少、第3次産業は9人減少、その他・不詳は4人減少となっている。

表 2 2 産業別就職者数（中学校）

（単位：人）

区 分	計	男	女
計	39	31	8
第1次産業	3	2	1
第2次産業	17	17	-
第3次産業	19	12	7
その他・不詳	-	-	-

2 高等学校（全日制・定時制）卒業生

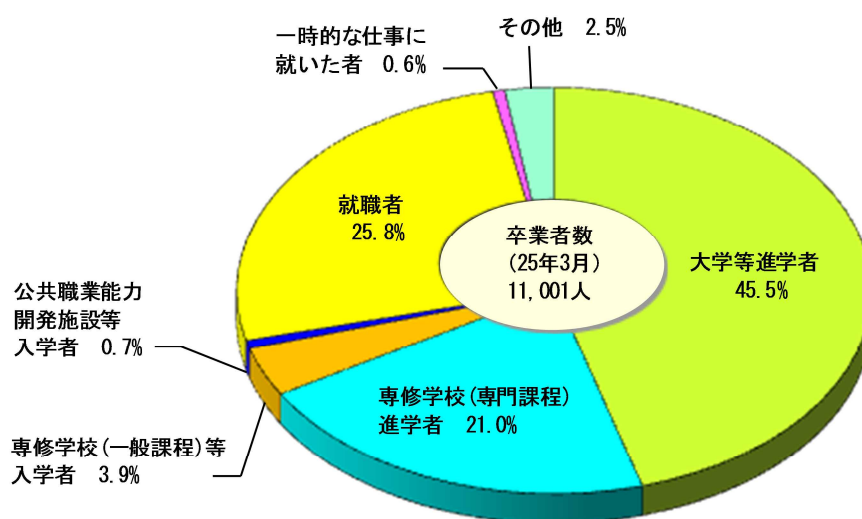
(1) 卒業生数は11,001人(男子5,592人、女子5,409人)で、前年度より380人増加している。進路別内訳をみると、大学等進学者5,007人(45.5%)、専修学校(専門課程)進学者2,308人(21.0%)、専修学校(一般課程)等入学者430人(3.9%)、公共職業能力開発施設等入学者73人(0.7%)、就職者2,841人(25.8%)、一時的な仕事に就いた者67人(0.6%)、その他275人(2.5%)となっている。

表2-3 進路別卒業生数（高等学校）

(単位：人、%)

区分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F+G)	大学等 進学者	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	一時的 な仕事 に就い た者	その他	(再掲) A. B. C. D のうち 就職者	大学等 進学率	就職率	県内 就職率
	T	A	B	C	D	E	F	G	H	A/T ×100	(E+H)/T×100	
平成18年3月	12,415	5,536	2,496	486	75	3,305	78	439	54	44.6	27.1	75.6
19	11,951	5,481	2,286	369	77	3,262	137	339	42	45.9	27.6	74.0
20	11,528	5,316	2,102	389	59	3,263	60	339	48	46.1	28.7	75.8
21	10,969	5,277	1,784	478	44	2,985	95	306	53	48.1	27.7	75.5
22	10,982	5,146	2,193	453	75	2,705	87	323	55	46.9	25.1	78.8
23	10,662	5,059	2,128	476	53	2,699	51	196	71	47.4	26.0	77.7
24	10,621	4,859	2,150	415	77	2,807	108	205	36	45.7	26.8	78.6
25	11,001	5,007	2,308	430	73	2,841	67	275	44	45.5	26.2	78.5

図5 進路別卒業生の構成比（高等学校）



(2) 大学等進学者数は5,007人(男子2,269人、女子2,738人)で、前年度より148人増加している。進路区分別にみると、大学学部3,896人(男子2,115人、女子1,781人)、短期大学本科901人(男子128人、女子773人)、大学・短期大学の通信教育部3人(男子2人、女子1人)、大学・短期大学の別科0人、高等学校の専攻科207人(男子24人、女子183人)となっている。(表2-4「A」欄参照)

大学等進学率は45.5%(男子40.6%、女子50.6%)で、前年度より0.2ポイント低下している。(図6「大学等進学率」グラフ参照) なお、大学等進学率の全国平均は53.2%(男子50.9%、女子55.5%)で、大分県は九州第2位、全国第31位の進学率となっている。

表 2 4 設置者別・進路別卒業生数（高等学校）

（単位：人、％）

区 分	合 計			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
T 卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G+H)	11,001	5,592	5,409	8,468	4,399	4,069	2,533	1,193	1,340
A 大学等進学者	5,007	2,269	2,738	3,855	1,787	2,068	1,152	482	670
大学(学部)	3,896	2,115	1,781	3,169	1,698	1,471	727	417	310
短期大学(本科)	901	128	773	680	84	596	221	44	177
大学・短期大学の通信教育部	3	2	1	2	1	1	1	1	-
大学・短期大学の別科	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等学校・専攻科	207	24	183	4	4	-	203	20	183
特別支援学校・高等部専攻科	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B 専修学校(専門課程)進学者	2,308	988	1,320	1,732	723	1,009	576	265	311
C 専修学校(一般課程)等入学者	430	272	158	330	214	116	100	58	42
D 公共職業能力開発施設等入学者	73	66	7	64	57	7	9	9	-
E 就職者	2,841	1,820	1,021	2,280	1,511	769	561	309	252
F 一時的な仕事に就いた者	67	31	36	33	13	20	34	18	16
G 上記以外の者	275	146	129	174	94	80	101	52	49
H 不詳・死亡の者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
進学就職者等 計	44	12	32	36	9	27	8	3	5
(再掲) Aのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Bのうち就職している者	28	8	20	25	7	18	3	1	2
Cのうち就職している者	15	4	11	10	2	8	5	2	3
Dのうち就職している者	1	-	1	1	-	1	-	-	-
大学等進学率 A/T×100	45.5	40.6	50.6	45.5	40.6	50.8	45.5	40.4	50.0
就職率 就職者総数(E+I)/T×100	26.2	32.8	19.5	27.4	34.6	19.6	22.5	26.2	19.2

表 2 5 大学(学部)・短期大学(本科)への入学志願状況（高等学校）

（単位：人、％）

区 分	大学(学部)・短期大学(本科) への入学志願者数(現役)			大学(学部)・短期大学(本科) への進学者数			大学(学部)・ 短期大学(本科) 進学達成率(%)
	A		B		B/A×100		
	大学(学部)	短期大学(本科)	大学(学部)	短期大学(本科)			
平成18年3月	5,800	4,675	1,125	5,279	4,186	1,093	91.0
19	5,721	4,639	1,082	5,263	4,200	1,063	92.0
20	5,586	4,570	1,016	5,113	4,112	1,001	91.5
21	5,470	4,535	935	5,096	4,186	910	93.2
22	5,268	4,288	980	4,938	3,964	974	93.7
23	5,248	4,316	932	4,894	3,982	912	93.3
24	5,192	4,354	838	4,646	3,822	824	89.5
25	5,363	4,443	920	4,797	3,896	901	89.4

(3) 就職者総数は2,885人(男子1,832人、女子1,053人)で、前年度より42人増加している。進学者及び入学者のうち就職している者は44人となっている。(表24「I」欄参照) 就職率は26.2%(男子32.8%、女子19.5%)で、前年度より0.6ポイント低下している。(図6「就職率」グラフ参照) なお、就職率の全国平均は17.0%(男子20.3%、女子13.6%)で、前年度より0.2ポイント上昇している。

就職率を学科別にみると、高い順に、水産科78.4%、農業科77.0%、工業科74.3%、福祉科50.0%、家庭科47.5%、商業科47.1%の順となっている。(表26、図7参照)

就職者総数のうち県内に就職した者は2,265人で、前年度より31人増加し、県内就職率は78.5%と前年度より0.1ポイント低下している。

表 2 6 学科別進路別卒業生数 (高等学校)

(単位：人、%)

区 分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F+G)	大学等 進学者	専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	一時的 な仕事 に就い た者	その他	(再掲) A, B, C, D のうち 就職者	大学等 進学率 A/T × 100	就職率 就職者総数 (E+H)/T×100
	T	A	B	C	D	E	F	G	H		
計	11,001	5,007	2,308	430	73	2,841	67	275	44	45.5	26.2
普通科	6,447	3,930	1,300	401	43	561	26	186	20	61.0	9.0
農業科	361	17	54	-	4	276	1	9	2	4.7	77.0
工業科	1,492	116	231	7	12	1,103	5	18	5	7.8	74.3
商業科	1,045	207	311	5	4	482	16	20	10	19.8	47.1
水産科	37	4	4	-	-	29	-	-	-	10.8	78.4
家庭科	276	82	43	-	-	131	17	3	-	29.7	47.5
看護科	280	214	54	1	-	8	1	2	1	76.4	3.2
福祉科	112	12	37	6	2	53	1	1	3	10.7	50.0
総合学科	778	295	249	7	8	193	-	26	3	37.9	25.2
その他	173	130	25	3	-	5	-	10	-	75.1	2.9

図 6 進学率・就職率の推移 (高等学校)

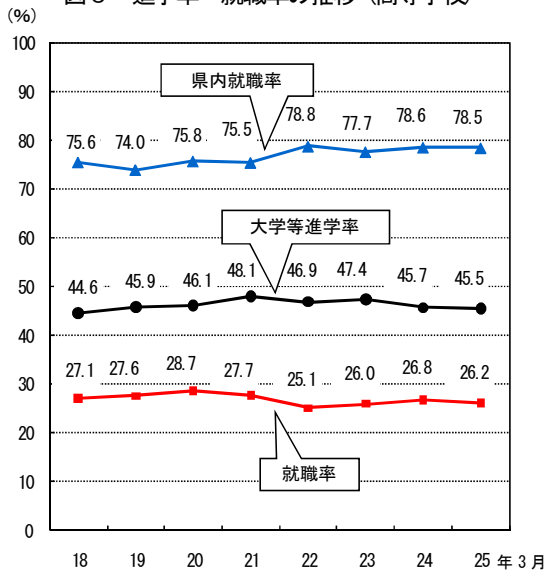


図 7 学科別進学率・就職率 (高等学校)

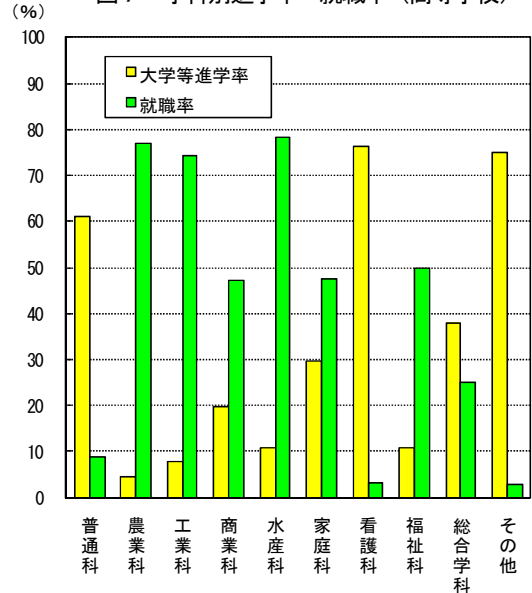


表 2 7 地元就職率の比較 (高等学校)

(単位：%)

区 分	地元 就職率	区 分	地元 就職率	区 分	地元 就職率	区 分	地元 就職率
[全国]	82.0	千葉	81.3	三重	88.2	徳島	79.3
北海道	92.3	東京	91.2	滋賀	89.3	香川	91.9
青森	58.9	神奈川	81.4	京都	82.2	愛媛	79.4
岩手	64.4	新潟	93.3	大阪	94.0	高知	64.5
宮城	84.1	富山	94.3	兵庫	86.1	福岡	82.3
秋田	65.9	石川	91.4	奈良	65.8	佐賀	58.2
山形	77.4	福井	88.8	和歌山	78.1	長崎	59.3
福島	79.5	山梨	90.2	鳥取	81.4	熊本	63.3
茨城	88.7	長野	92.1	島根	75.0	大分	78.5
栃木	81.5	岐阜	78.8	岡山	84.4	宮崎	59.7
群馬	90.2	静岡	94.1	広島	92.0	鹿児島	57.6
埼玉	74.4	愛知	96.9	山口	81.1	沖縄	66.8

(4) 就職者総数を職業別にみると、生産工程従事者が1,114人(38.6%)で最も多くなっている。

表28 職業別就職状況(高等学校)

(単位:人)

区 分	計	男	女
計	2,885	1,832	1,053
専門的・技術的職業従事者	324	207	117
事務従事者	168	37	131
販売従事者	261	101	160
サービス職業従事者	505	181	324
保安職業従事者	158	141	17
農林業従事者	35	28	7
漁業従事者	2	2	-
生産工程従事者	1,114	853	261
輸送・機械運転従事者	71	65	6
建設・採掘従事者	137	137	-
運搬・清掃等従事者	32	27	5
その他	78	53	25

(5) 就職者総数を産業別にみると、製造業が1,094人(37.9%)と最も多く、次いで卸売業、小売業317人(11.0%)、医療、福祉280人(9.7%)の順となっている。

また、県内就職者2,265人(男子1,343人、女子922人)では、製造業が833人(36.8%)と最も多く、次いで卸売業、小売業274人(12.1%)、医療、福祉265人(11.7%)の順となっている。

県外就職者620人(男子489人、女子131人)を就職先の都道府県別でみると、第1位が福岡県で208人(33.5%)と最も多く、次いで愛知県90人(14.5%)、東京都80人(12.9%)、大阪府70人(11.3%)の順となっている。

表29 産業別就職状況(高等学校)

(単位:人)

区 分	就職者総数			うち県内就職者		
	計	男	女	計	男	女
計	2,885	1,832	1,053	2,265	1,343	922
農業、林業	26	19	7	24	18	6
漁業	11	10	1	7	6	1
鉱業、採石業、砂利採取業	13	13	-	12	12	-
建設業	267	250	17	190	175	15
製造業	1,094	821	273	833	594	239
電気・ガス・熱供給・水道業	24	23	1	8	8	-
情報通信業	11	4	7	9	3	6
運輸業、郵便業	114	89	25	85	63	22
卸売業、小売業	317	121	196	274	99	175
金融業、保険業	11	-	11	7	-	7
不動産業、物品賃貸業	14	8	6	13	7	6
学術研究、専門・技術サービス業	33	19	14	21	9	12
宿泊業、飲食サービス業	216	90	126	181	68	113
生活関連サービス業、娯楽業	94	34	60	80	31	49
教育、学習支援業	5	3	2	2	-	2
医療、福祉	280	75	205	265	71	194
複合サービス事業	41	18	23	37	16	21
サービス業(他に分類されないもの)	81	46	35	52	29	23
公務(他に分類されるものを除く)	174	154	20	116	105	11
その他	59	35	24	49	29	20